

ほくほく通信

かわさきし ほくほく ちいきりょういく せんたー
川崎市北部地域療育センター
の紹介



通園部

通園部では、小集団での療育を通して、基本的な生活習慣の確立、年齢や発達段階に合わせた生活経験、社会性やコミュニケーションスキルの向上など、お子さん一人ひとりの発達上のニーズに合わせて、児童発達支援計画を作成し発達支援を行っています。生活や遊びの中で、様々なことにチャレンジし「できた!」「わかった!」「たのしい!」「もっとやりたい!」をたくさん経験できるように、保護者の方と一緒に、お子さんに寄り添いながら支援をしています。



心理部

お子さんへの心理評価や保護者の方からのお話を伺いながら、今のお子さんの様子を確認します。保護者の方と一緒にお子さんを理解しながら、日々の関わりについて具体的な手立てを見つけていきます。必要に応じて、お子さんへの個別指導や保護者の方との個別面談、所属機関との連携などの支援を行います。



総務部

みなさまをお迎えする受付や通園される園児さんの給食献立を作る栄養士、センターを気持ちよくご利用いただくための業務サポートを行う総務職員がいます。どうぞご来所された際は、お気軽にお声がけください。



地域支援部

ソーシャルワーカーは、お子さんの育ちの心配ごとについて相談を受けつける「相談窓口」です。安定した家庭や地域での生活を過ごすことができるよう相談・支援を行います。就園・就学、生活のこと、制度のこと、どこに聞いたらいいのかわいたらソーシャルワーカーへご相談ください。お子さんが安心して遊べる場所として第1・3土曜日には「ほくほく・ひろば」(園庭開放)を開催しています。ぜひ、遊びにおいでください。



リハビリテーション部

作業療法 (OT) は遊びながら自分の体・手先の使い方を練習したり、身の回りの動作の練習をしたりします。また、食べ方や偏食の相談も受けています。理学療法 (PT) では、日常生活に必要な運動機能の獲得・改善を行っています。また補装具や車いすなどの作製に関わり社会参加の支援を行っています。言語聴覚療法 (ST) は、ことば・コミュニケーション・きこえのご相談をお受けし、アドバイスや必要に応じた支援を行っています。



診療所

診療科は、小児科・小児神経科・児童精神科・リハビリ科・耳鼻科があります。医師の診療では、発達の課題による言葉や行動上の特性があるお子さんに対し、医療・専門分野の相談をお受けします。各専門職と連携しながらお子さんの発達の支援についてアドバイスをします。お気軽にご相談ください。

所長あいさつ

新しい年度が始まりました。それぞれに入園・入学・進級おめでとうございます! たくさんの期待と心配な気持ちをそのまま大切に、新たな歩みを進めていくことができるよう心から願っています。

川崎市北部地域療育センターのこの春の新しいスタートは・・・

・通園部のクラス・グループは新しい仲間・先生との活動がはじまります! 一生懸命にそれぞれの活動する子どもたちのたくさんのお顔をとても楽しみにしています。

・医療的ケアのある子どもたちなどの通園の送迎などに使用する車が新車になりました! みなさま街で見かけたら応援してください。

・(ちょっと前ですが) 停電時用の自家発電装置が新しくなりました! 出番がないことを祈っています。引き続き避難訓練など災害時の備えについて検討を続けます。

・今年も新しいスタッフを複数迎えることができました! これまでの経験もそれぞれ違いますが、少しずつ業務に慣れていくと思います。ぜひよろしくお願いたします。

・社会福祉法人同愛会が運営するようになり、11年目になりました! (5年単位なので今年は新しい期の1年目なのです)。10年前から変わらない大事な部分はそのままに、変わっていく子育て環境やニーズにも引き続き取り組んでいきたいと思えます。

今年度も引き続き、川崎市北部地域療育センターの運営にご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

センター長 山口 直人

